

# 議会だより

～ 未来を担う 若者たち ～

1月12日 210人の成人を祝う

(表紙は、基山小校区の新成人)

平成26年2月1日発行

平成25年 第4回定例会

12月議会

新年のご挨拶、賛否表	2
議案審議	4
補正予算	5
常任委員会報告(総務文教、厚生産業)	6
図書館等建設特別委員会	7
一般質問	8
意見書、議長交際費、3月議会会期日程(案)	14
議会傍聴記、編集後記	15
ありがとうを伝えたい	16

きやま 検索



# ヒリニューアル

## 新年のご挨拶



基山町議会議長  
鳥飼 勝美

町民の皆様におかれましては、穏やかな新春を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。

基山町議会は、開かれた議会・活力ある議会を目指して活動しているところです。昨年の7月には基山町議会始まって以来の「議会報告会」を開催いたしました。当日は60名の町民の皆様と全議員との意見交換会を実施し、貴重なご意見を頂きましたので今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。さて、日本経済は、長らく続いたデフレからようやく脱却し、

円安・株高傾向となり経済の回復基調が見込まれていますが、まだ私達には実感として伴っていないところですが、

基山町におきましては、昨年、小森町長が長年の二つの懸案事項を決断されました。一つ目は、新図書館の建設場所を中央公園内（基山小南側）と決定。二つ目は、けやき台北側の町道白坂久保田2号線の延長（約150m）の事業実施を決定したことです。

基山町議会は、今後の行政に対する監視・チェックの機能だけでなく、人口増対策、子育て支援、高齢者対策、公共施設の老朽化対策等の課題について積極的な政策提案・提言を行っていきます。

今後とも皆様方のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

賛 否 表											
1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	
神前 輔行	久保山 義明	牧園 綾子	木村 照夫	河野 保久	重松 一徳	後藤 信八	大山 勝代	品川 義則	林 博文	松石 信男	
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
無記名投票による採決（同意11、不同意0）											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成は○、反対は×

# 役場別館が基山町福祉交流館

## 平成25年 第4回定例会 (12月9日～12月17日)

基山町福祉交流館設置及び管理に関する条例の制定や1つの条例改正、規約の一部変更案と、平成25年度の一般会計及び特別会計の補正予算を審議し、全12議案を可決した。

第2回臨時会で否決された基山中パソコン購入については、仕様見直しによる内容変更の説明を求めしっかりとした議論を重ねて可決した。

区分	議案	内容	結果
第54号議案	基山町福祉交流館設置及び管理に関する条例の制定について	役場別館(旧内山建設跡地)に福祉交流館を設置するために、基山町福祉交流館設置及び管理に関する条例を制定する。	原案可決
第55号議案	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	消費税率の改正に伴い関係条例の整理に関する条例の制定を行う。	原案可決
第56号議案	基山町国民健康保険条例の一部改正について	刑事施設等に拘束されたことによって保険給付の制限を受ける被保険者の属する世帯を国民健康保険税の減免対象とするため、基山町国民健康保険条例の一部改正を行う。	原案可決
第57号議案	基山町固定資産評価審査委員会委員の選任について	委員の任期満了に伴い、天本和典氏を基山町固定資産評価審査委員会委員に選任する。	原案同意
第58号議案	基山中学校パソコン教室用パソコン等の取得について	平成25年11月29日公募型指名競争入札に付した基山中学校パソコン教室用パソコン等について1,102万円でおフィスキャぶから購入する。	原案可決
第59号議案	基山町民会館の指定管理者の指定について	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで西鉄BM・西日本企画サービス共同事業体を基山町民会館の指定管理者とする。	原案可決
第60号議案	基山町体育施設の指定管理者の指定について	平成26年4月1日から平成31年3月31日までセイカ・西鉄BM共同事業体を基山町体育施設の指定管理者とする。	原案可決
第61号議案	鳥栖・三養基地区消防事務組合規約の変更に係る協議について	鳥栖・三養基地区消防事務組合の経費のうち関係市町負担金について、平成26年度から前年度の消防費に係る基準財政需要額の確定額による負担金とする。	原案可決
第62号議案	鳥栖・三養基地区障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更に係る協議について	鳥栖・三養基地区障害程度区分認定審査会の名称を鳥栖・三養基地区障害支援区分認定審査会に変更する。	原案可決
第63号議案	平成25年度基山町一般会計補正予算(第4号)	従前の予算に8,546万円を追加して、総額を58億7,543万円にする。	原案可決
第64号議案	平成25年度基山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	従前の予算に891万円を追加して、総額を23億823万円にする。	原案可決
第65号議案	平成25年度基山町下水道特別会計補正予算(第4号)	従前の予算に734万円を追加して、総額を3億5,912万円にする。	原案可決

# 新指定管理者決定 自主事業の企画力に期待

町民会館・体育施設等（平成26年度～30年度）

## 議案審議

### 4月から基山町福祉交流館の業務開始

**問** 会館管理業務委託内容はなにか。

**答** 管理するのはあくまで一部で、申請の受付・許可書の交付・使用料の収納・備品貸出・鍵の受け渡し・交流広場及び各部屋の一般管理・平日閉館後の戸締り及び土日祝日の開館時の鍵の開閉である。

### 基山中学校。パソコン・タブレット型に変更

**問** 第二回臨時会で否決されたパソコンはデスクトップ仕様であったが、今回タブレットタイプに機種変更したのはなぜか、また学校側とは相談したのか。

**答** 基本ソフトやパソコンスペックの変更を行い、県の情報課に相談しタブレットタイプにした。中学校の技術科授業における活用方法や今後将来を見据えて、情報教育のスキルアップが是非とも必要であり、学校現場の担当者と話し合い慎重に機種変更の検討を行った。

**問**

設置工事（設置工事費・インストール費・撤去費用）が総額の2割を超える金額で高いと思うがなぜか。

**答** 4社より見積り提出した金額である。妥当な金額である。

### 町民会館・基山町体育施設の指定管理者によるコストダウン

**問** 指定管理者制度の導入目的及び効果はあるのか。

**答** 行政サービス向上と効果的・効率的運営を図るために導入したのが大きな目的である。職員が管理した場合と比較して200万円から400万円に削減。

**問**

指定管理者選考の審査員は誰か、外部よりの審査員は要請しているのか。

**答** 審査員は副町長・教育長と、執行部の計6名である。外部の審査員はいない。外部審査員は今後の検討課題とする。

### 食の観光推進事業のパンフレット作成

**問** 着地型旅行商品造成支援事業委託料に変わる内容であるが、どのような事業内容か。

**答** 町内飲食店・特産品販売・お土

産品など紹介の冊子であり、A5判フルカラー100ページ以内で2万部作成するもの。配布方法は公共施設・JRの駅・基山PA等に配置する。各種イベントで町内外より、お客さんが集まる開催場所配布する。

### 洋式トイレ改修に補助

**問** どういう事業に活用するのか、また期限はあるのか。

**答** 第5区公民館2台分の和式トイレを洋式トイレに改修する費用である。この補助金は県の予算で27年までである。申請受付については、自治公民館関係等は教育学習課で受付ける。民間は鳥栖保健福祉事務所申請受けを行っている。



▲指定管理の基山町総合体育館

# 原泰久氏に基山町民栄誉賞を授与

基山町出身の漫画家の原泰久氏は人気まんが「キングダム」により、手塚治虫文化賞のマンガ大賞を受賞された。町民栄誉賞は今回で2人目で、基山町の知名度を高め、町民に夢と希望を与えたという理由。授賞式は12月27日に行い、記念品代として10万円計上。

## 一般会計の主な補正内容

8,546万円を追加

予算総額 58億7,543万円

### 歳出

- ・ 一般表彰費 10万円  
町民栄誉賞の記念品代
- ・ 放課後児童教室備品 49万円  
ひまわり教室入所児童増に伴う福祉交流館でのC教室使用のための備品
- ・ 身近なユニバーサルデザイン  
推進事業補助金 80万円  
和式から洋式トイレへの改修を進める佐賀県の事業で、第5区公民館2台分

- ・ 子ども・子育て支援制度に伴うシステム構築業務委託料 939万円  
制度導入のための電子システム業務委託
- ・ たんぽぽ保育園運営費 1,371万円  
入園児が102人から122人に増加した
- ・ 保育所備品 120万円  
基山保育園の椅子・テーブル購入
- ・ 食の観光推進事業制作運営委託料 76万円  
町内の飲食店・特産品販売などを紹介するパンフレット作成。平成26年までの総額842万円の事業



▲受賞された原 泰久氏



▲議員との記念撮影

## 国民健康保険 特別会計 補正予算

891万円を追加 (第4号)

予算総額 23億823万円

## 下水道 特別会計 補正予算

734万円を追加 (第4号)

予算総額 3億5,912万円

# 基山中パソコンノート型タブレットでICT化

## 総務文教常任委員会

平成25年第2回臨時会で、積算根拠の曖昧さ、仕様書等の説明が不十分で原案を全会一致で否決されていた。

町は、パソコンのサポートが終了する来年3月までに機種変更を終えるために再度入札を行った。

今回は、佐賀県のICT利活用状況を勘案し従来のデスクトップ型からノート型タブレット、データ保存量、プリンター等の仕様書を見直した上で、公募型指名競争入札を行った。

委員会としては、着脱式タブレットの使用を生徒に十分指導をすること、ICT化を早急に進めることを要望した。

## 佐賀県トイレ洋式補助事業で第5区のトイレ改修

「身近なユニバーサルデザイン推進事業」として平成25年～27年まで県の総事業費5億8000万円の補助事業を行う。

事業概要は、来客用トイレがある民間施設などのトイレを洋式化等の工事に費に対し助成する。

対象施設は自治公民館、地区集会所、社会福祉施設、飲食店、物販施設、宿泊施設などである。

## 所管調査報告

委員会は、8月と11月に町内3校の小中学校を調査した。

文部科学省の政策で小学校2年生まで定数35人制に伴い、若基小学校3年生も昨年まで2学級で学習していた。しかし、3年生以上は定数40人制のために現在は単学級で学習している。学校としては、チーム・ティーチング(TT)や級外の先生の授業を増やすことで児童・担任の負担を軽くする手立てをとっている。これは抜本的な解決策とはなっていないので、委員会としては町単独で予算をつけて、きめの細かい指導が行き届くことで児童の学力向上が期待される少人数の複数学級にすることを要望した。



▲若基小3年生の授業風景

# 旧内山建設社屋を福祉交流館に

## 厚生産業常任委員会

町が平成22年7月に購入した旧建設会社社屋(土地・社屋を9500万円で購入)の利用法が決定した。

1階は社会福祉協議会が事務所として利用し、2階は交流広場や学習室、多目的室及び創作活動室として福祉活動の拠点となる。

誰でも自由に利用できる交流広場は午前9時から午後7時まで。学習室や多目的室等は午後9時まで延長できる。なお、月曜日が休館日。

管理を委託し、2階に受付を設け、そこで申請受付や使用料の支払い、鍵の受け渡し等を行う。

使用料は1時間単位で学習室は120円、多目的室130円、創作活動室160円になる。利用料の減免として、町立学校や保育園、町および社会福祉協議会の主催事業は全額免除。町立以外の学校、保育園・幼稚園や老人クラブ、身体・精神障害者団体等は半額免除になる。

委員会では町立学校等以外についても減免拡大の見直しを要望した。また、会館管理委託は世代間交流や子育て支援などのイベントも企画するように要望した。

## 「コミュニティバス運行について」研修

10月21日から23日の日程で、愛媛県松前町、香川県まんのう町、多度津町を視察した。

研修項目は、コミュニティバスの運行や土地利用計画や下水道事業、ごみの分別収集や環境問題、定住自立圏構想と子育て支援策について。

基山町も循環バスの見直しを行い、地域交通としてコミュニティバスへの切り替えを検討している。2台運行や有料化した場合の課題を研修した。

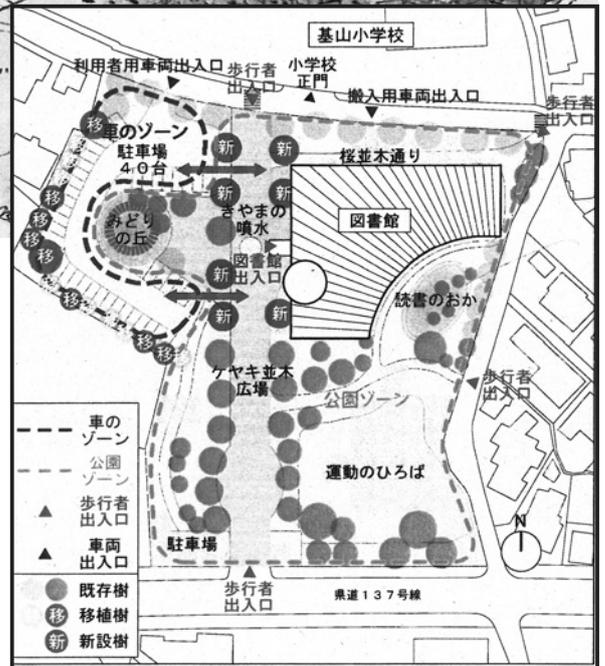
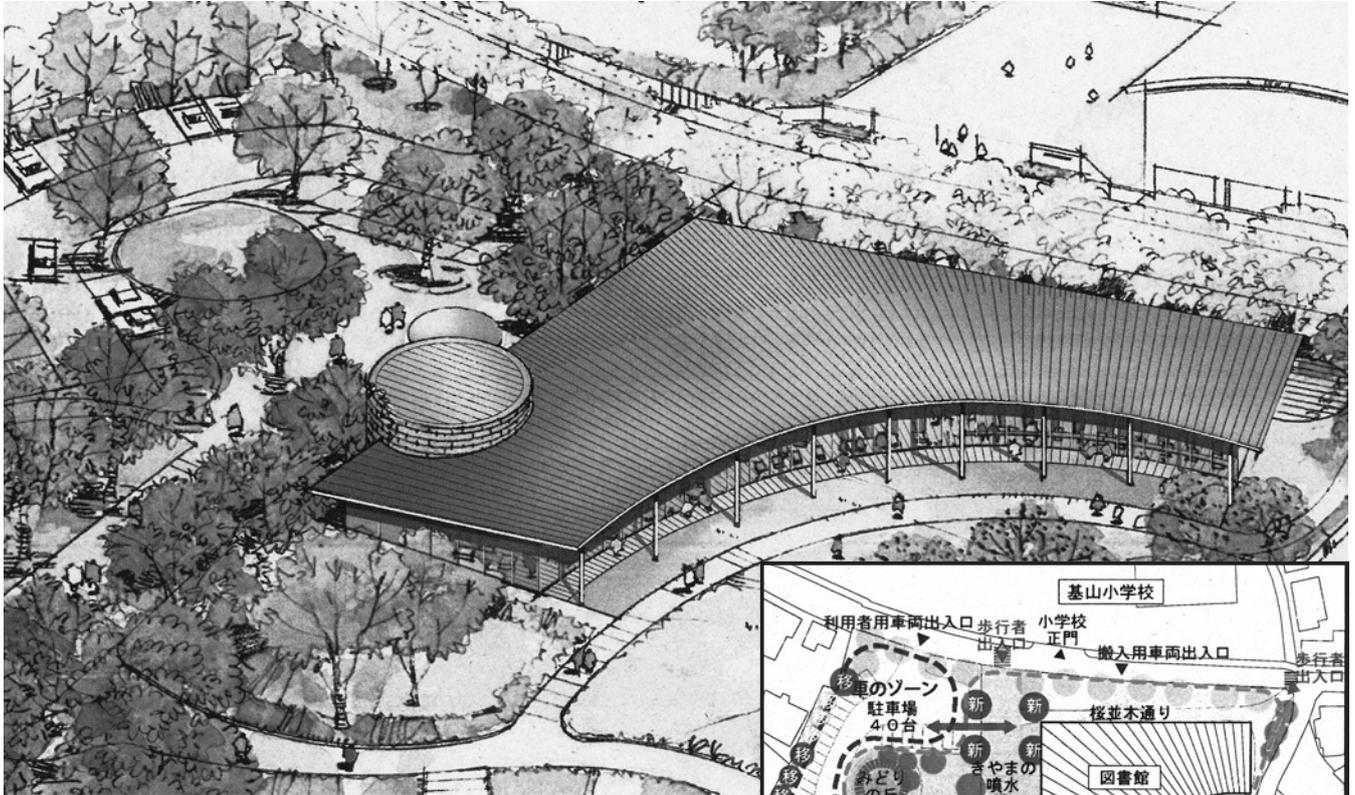
研修の報告は、参加者全員が報告書を作成し、情報公開コーナーや議会ホームページで公開している。



▲福祉交流館に生まれ変わる旧内山建設社屋

# 中央公園を活かした新図書館建設構想

下図はあくまでも業者が出したイメージ図で、町民の意見を取り入れる中で変更する場合があります。



## 株式会社 佐藤総合計画 九州事務所に決定 図書館等建設設計者

### 図書館等建設工事の概要

建設場所	中央公園内に新築	
延べ床面積	約1,100㎡	
概算工事費	図書館建築工事	約4.6億円
	外構工事	約0.2億円

### 図書館等建設の今後の日程(案)

平成25年12月～	基本設計
26年3月	ワークショップ3回程度
平成26年3月～	実施設計
8月下旬	
平成26年10月～	建設工事等
平成28年4月	新図書館等施設の開館

### 図書館等建設特別委員会

委員長	品川義則
副委員長	重松一徳
委員	大山勝代
委員	後藤信八
委員	河野保久
委員	久保山義明

議会で特別委員会を設置し、図書館等建設について審査・提言を行っていきます。

# 11人が町政を問う

# 一般質問

(傍聴者 延べ67人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

## 問 総合計画への子どもの参画は 答 是非検討していく



河野 保久 議員

と思っています。

**問** 総合計画策定への子どもの参画の場は考えられないか。

**答** 是非検討していく。

**問** 基山の小・中学校をどうするのか

**問** 教育委員会制度の改革・学制の見直し等の動きが出てきている。国の動きに対する所感は。

**答** 国において改革がされていくと認識している。多少の考えの相違はあるが、著しく齟齬はないと考える。

**問** 学校教育を推進する上で、町が抱えている問題があれば示せ。

**答** 人事権の移譲については、町単独での人事は困難。

**問** 若基山の単学級解消のため、町独自の予算

をとって対処できないか。

**答** できない。

**問** 将来にむけて小・中学校をどうするのか。

**答** 未来にわたって生き抜いていける人材の育成に取り組んでいく。

**問** 育成町民会議と子どもクラブの関係の見直しを

**問** 双方とも子どもの健全育成という目的は同じであり、事業も類似したものが多い。組織の再編等は考えているか。

**答** 将来は分からないが、現在のところは考えていない。

その他の質問

アトラスけやき台の現状について、計画完成までの町としての積極的関与を、改めて要望した。町として出来ることは協力するとの回答。



▲40人学級の授業風景

## 問 町営住宅改築を民間で 答 今後の研究課題だ

品川 義則 議員



**問** 町の長寿命化計画で園部団地の判定結果はどうなっているか。

**答** 園部団地は、建て替えの判断結果がでている。

**問** みやき町が定住化住宅を民間の資金とノウハウを活用したPFI事業で町営住宅を建設している。第4次総合計画に沿った計画で町費の負担なく、庁舎西側の町有地、旧役場跡地、旧中央公民館などを再開発すべきではないか。

**答** 民間が担うのは、設計・建設・維持・運営の部分で、基本的な方針や計画立案は町が担うものである。現時点ではPFI事業の活用は難しいと

考える。

**要望** 町はこれから園部団地、基山保育園、図書館建設、神の浦溜池埋め立て、白坂久保田2号線工事、駅前再開発など大きな事業を抱えている。民間資金とノウハウを活用した事業展開こそ町の再活性化につながる。

**自治会・行政組合加入促進を**

**問** 町の世帯数6400世帯の内10月末で757世帯が組合外となっている。第9区250世帯、第11区112世帯、第3区100世帯で特に多い。対策は取れないか。

**答** 転入時に自治会と行政組合の案内をしている。

**問** 行政視察を行った神奈川県大磯町や寒川町では、自治会が住宅建設業

者、不動産業者との加入促進協定の締結に取り組んでいる。町では出来ないのか。

**答** 今後、事業者と協定締結等できるのか研究していく。

**問** 転入時に役場受付で自治会加入のパンフレット等の配布はできないか。

**答** 早速検討する。

**若基小3年生のクラスを2クラスの少人数学級に**

**問** 8月と11月に若基小へ所管調査を行った時に3年生のクラスが43人(特別支援児童3人を含む)で、窮屈な授業の様子だったが町単独の費用で2クラスに出来ないか。

**答** 今の状態で授業に支障はない。

**問** 担任教師の熱意と工夫の授業が行われていたが、少人数学級の効果は十分認知されているのではないか。

**答** 現在のところ考えていない。

## 問 合併浄化槽の維持管理に公費負担を 答 一部助成を検討している

木村 照夫 議員



**問** 現在町内の公共下水道の普及率と、世帯数はいくらか。

**答** 平成24年度末における普及率は76・2%で世帯数は4885世帯である。

**問** 合併処理浄化槽の設置数は。

**答** 平成25年10月末現在で702基となっている。

**問** 汲み取り方式世帯数は把握しているのか。

**答** 平成24年度末現在、町内の汲み取り世帯は607戸となっている。

**問** 合併処理浄化槽の維持管理費は個人負担しているが、公費負担はできないか。

**答** 現在、公共下水道事の全体計画の見直しを行っている。下水道整備をしない区域については合併処理浄化槽の維持管理費に対しての一部助成を検討している。



▲合併処理浄化槽

さが四季彩の森林づくり整備事業について

**問** 事業内容はどのようなものか。

**答** 県が推進する、さが四季彩の森林(もり)づくり整備事業には、民家や農地周辺に関わる荒廃した竹林等を伐採し、広葉樹を植栽する里山再生

タイプがある。森林所有者負担はなく、事業期間は5年である。

**問** 町内で候補地は検討しているのか。

**答** 里山エリアの整備の目的でもある四季の変化を感じやすく県民の生活に潤いを与える場所を県と協議している。候補地に小松地区があがっている。

**全国学力テスト結果の公表は誰がすべきか**

**問** 個人、学校、県の全国順位はどのなのか。

**答** 文部科学省や佐賀県教育委員会から順位はでてない。

**問** 成績結果は公表すべきか、誰が公表するのか。

**答** 本調査の目的や、調査結果が学力の特定の一部分であることを明示し、調査結果の分析を踏まえた改善策等を示す。また序列化につながるようなように配慮する。今後、結果の公表については教育委員会で協議していく。

## 問 けやき台の課題認識は 答 基山町の縮図と考える

後藤 信八 議員



**問** 10月に佐賀新聞に掲載された「けやき台譚歌」に対する町長の所感は。

**答** けやき台の人口流出、高齢化、坂の町などの問題点をよく捉えている。町として住みよいまちづくりを努力しなければならぬ。

**問** 10年後の推計では狭い地域に1500人近い高齢者のまちななるが。

**答** 難しい問題。助け合う仕組みづくりが重要である。

**問** けやき台をもっと住みやすいまちにするために

**問** 若い人には福岡に近い「魅力的なまち」として「空き家バンク」「定住促進策」で子育て世代の移住促進を図れ。

**答** 26年4月より試運転の予定である。

**問** 団地内の駐車場の確保が深刻と聞く。あらゆる方法を検討すべき。

**答** アトラスの空き駐車場の利用についても旭化成に確認する。

**問** けやき台駅の階段は子育て世代にも不満。弥生が丘駅にはエレベーターがある。町の負担覚悟で早急に実現を。

**答** 強い気持ちでJRと協議している。来年の3月には結論を得たい。

**問** けやき台の課題は基山の課題との意思を示せ。

**答** 思いを強くした。提案も含めて町としてしっかり取り組む。



▲分譲開始から4半世紀を迎えるけやき台

## 問 基山町の農業の将来は 答 まずは確実に現状維持

牧園 綾子 議員



**問** 佐賀県内の新規就農者が167人と平成に入って2番目に多い数字だが、基山町の状況に変化はあるか。

**答** 平成25年度より青年就農給付金事業を利用し、1人の方が水稲経営とは別に部分経営を始めた。

**問** 就農者を対象とした若い世代の人を呼び込む施策は検討されているか。

**答** 国の新制度が検討されている段階なので、今後佐賀県農業協同組合、三神普及センター等とも情報を共有していきたい。

**問** 基山町農業再生協議会での地域農業の将来に関するアンケート調査は

**問** 現在どう活かされ、また施策に繋がっているのか。

**答** 「基山町、人・農地プラン」を作成するため運営のための話し合い等に活かされている。

**問** 佐賀県内の耕作放棄地（荒廃農地）が前回調査と比べてどう変わっているか。

**答** 農地パトロールを実施しているが、毎年変わらない状況。

**問** 新設の基山町図書館

**問** 新設に向け、改善したいと思っていることは、具体的に何か。

**答** ハード面では、子供コーナーのトイレや授乳室、お話の部屋、インターネット等のスペース、研修室兼学習室となる多目的スペース等。

**問** 他の市町村で行っている出張図書館や学校巡回文庫についてどう認識を持っているか。

**答** 出張図書館や学校巡回文庫の代わりに、要望に応じて団体貸出を行っている。



▲ふれあいフェスタで農産物販売

## 問 合併についてアンケートをしてみました

答 機運が高まっているとは言えない



重松 一徳 議員

問 合併についての情報が少ないのでは。

答 広報きやまで2回行ったが、財政問題や行政サービス、合併の事例などを引き続き行ってきたい。

問 副首長クラスでの「将来のあり方検討委員会」の具体的議論は？

答 合併の評価や問題を議論して行くようになったが、その後が合意できず進展していない。

問 鳥栖市長から「合併検討委員会」の立ち上げが提起されているが、参加するのかもしれないか。

答 鳥栖市は「すぐにでも合併を」という提案なので、基山町は従前どおり慎重に対応したい。それは参加しないと

いうことか。

答 具体的内容も不明確ではっきり言えない。

問 町民への経緯の説明はどのようにするのか。

答 合併の検証で、合併周辺部は人口減少や限界集落の増加があり、基山町も周辺部に該当し、相当の覚悟がいることを説明したい。

問 鳥栖市・基山町・みやき町・上峰町の1市3町で合併についてアンケートをとって、考えを聞いたらどうか。

答 そのような機運が高まっているとは言えない。提起する予定はない。

問 せめて基山町単独でもアンケートを取り組む意思はないのか。

答 町民の考えを聞くことは大事だが、予定はない。

要望 合併論議に町民の声がまったく反映されて

いない。鳥栖市から合併のラブコールが来ている今、町民の意思を確認する方法としてアンケートの実施を要望する。

副町長就任2年間の総括と今後の課題について

問 具体的成果と課題は。

副町長 短期間で成果は乏しいが、課長と町長のパイプ役として混乱なく行政運営が出来た。残りの期間、職員の意識改革と組織体制の検証をした。

問 来年4月以降、副町長はどうするのか。

答 田代副町長の継続は断念せざるをえない。改めて新しい副町長を迎えるつもりだ。



▲合併について市長・町長大いに語る

## 問 感染症対策は万全か

答 適宜対応する



神前 輔行 議員

問 今年流行すると思われるインフルエンザウイルスは何か。

答 香港型が流行する可能性が高いと考える。

問 感染力が非常に強く日本では約10人に1人が毎年感染していると言われる。補助対象以外にも補助するべきではないのか。

答 現在のところ難しいと考える。

問 基礎疾患のある方は重症化する可能性が高いがその人たちから補助出さないのか。

答 今後、調査、研究が必要と考える。

問 ノロウイルスの対策、意識づけは十分に

行っているのか。

答 ハンドブックの配布、ポスター掲示の依頼等の啓発活動を行っている。またヘルスメイト講座、ママパパ教室等の開講時に基本教育として指導している。

問 ノロウイルスは意識づけ、習慣化が対抗手段として有効である。子供たちに人気のあるぎやまを活用して啓発活動に取り組んでほしい。

答 関係各位と協議し検討して行きたい。

問 感染症罹患児の対策について示せ。

答 マニュアルに基づき対応を行っている。

問 回復まで約1週間程度時間を要する。ワーキングマザーや姉妹兄弟の多い家庭では自宅療養は難しいと考える。施設な

どと連携し、感染症罹患児の保育対策は出来ないか。

答 近隣で病中を見てもらせる施設が現在のところない。今後県境を越え情報収集をすることもに対象施設があれば協議をして行きたい。



▲感染症対策キット

パブリックコメントについて

問 コメントの募集の仕方、やり方の改善は検討しているか。

答 まだ条例が施行されて3年目なので、今しばらく状況を観察する。その後、検討したいと考える。そのさいは国や県等のやり方を研究したいと考える。

要望 国、県のやり方だけでなく基山町民の意見が反映されるよう、基山町独自のやり方で考えてほしい。

## 問 大学との継続的な連携を

答 研究し、前向きに進めたい



久保山義明 議員

**問** 審議会や総合計画など単発的ではなく、継続的な大学との連携が課題解決に必要と思うが。

**答** 交通網や高齢化の問題など象徴的地域でもあるので、機会があれば取り組んで行きたい。

**問** 文科省系の事業、もしくは国交省系の事業での大学との連携が打診されていると思うが、今後の取り組みは。

**答** 学生、大学と一緒にまちづくりを考える機会がないか探ってはきた。結果的には出来なかったが、今後検討したい。佐賀県とも官学連携について、今年度中には協議する機会があると思う。

住環境整備待ったなし

**問** 「基山に家建てたいが、土地がない」という声にどう応えていくか。

**答** ソフト面での定住政策として子育て支援策を中心に、幸福度、満足度に重点を置いてきた。

**問** 残念ながら人口増や合計特殊出生率に反映されていない。以前に質問した50戸連たんの具体的な検討はしているか。

**答** 宮浦、城戸、長野地区において、関係区長へ説明を行った。

**問** 市街化区域隣接タイプではなく、集落活性化タイプを選択した理由は。

**答** 市街化区域隣接タイプの場合は、これを選択すると市街化区域拡大に制限がかかってしまう。住宅開発のための拡大は残存農地が多いためな

なか難しいが、長野地区を新産業エリアとしての市街化区域拡大を視野に入れ協議していく。

**問** 移住・住み替え支援機構の検討や固定資産税納付書発送時の情報提供など早急な対応を。

**答** 確かに人口増対策は喫緊の課題。納付書同封での情報提供も対象者の絞り込みが困難ではあるが、出来ないことはない。

教育の原点、家庭教育

**問** 機構改革によって大切な支援が抜け落ちていく。関係課の横断的な取り組みが必要ではないか。

**答** 法律でも「行政は支援する」とある。何が出来るか考えていきたい。

法根拠条例	都市計画法第34条12号
目的	調整区域において人口減少・少子高齢化の進行等が認められる集落の活性化を図る。
建築物の用途	戸建専用住宅
建築物の形態規制	建築物の最高の高さ10m

▲50戸連たん「集落活性化タイプ」の概要

## 問 若基小3年生を2学級に

答 次年度も基準通り編成



大山 勝代 議員

**問** 若基小3年生は2年生まで2クラス20人で学習してきた。3年生になったら基準の定数40人になった。ただでさえ学習内容が難しくなり、学年が進むとついていけない子が増えてくる。そうならないために基山町が先生を雇い4年生では2クラスにならないか。

**答** 40人になったことで特段の支障は出ていないと認識しており、次年度も国の基準に則り編成していきたい。

**問** 基山町が国や佐賀県に先駆けて少人数学級を推進している町ということになれば、子育て中の若い世代が転居してくると思われる。町長はど

う思われるか。

**答** どの程度効果があるか、必要性があるかを教育委員会と話し合いたい。

**問** 今年度、基山中3年生と特別支援学級にエアコンがつくことになった。みやき町は全教室についている。今後の増設見通しはどうか。

**答** 今年度基山中に設置するのでその評価を検証し今後の対策を検討する。

**問** 基山中2年生の教室に風が通らないと聞いている。来年度は2年生に付けられないか。

**答** 付けるには大きな費用がかかり、ランニングコストもかかる。どうすればいいか考えていく。

**問** 佐賀県は公の施設のトイレの洋式化を推進し助成をしている。基山3

校のトイレも洋式を増やしてほしいが、それぞれの数はどうか。

**答** 基山小は新築のさいに洋式を多くしている。基山中は大規模改修時に整備している。若基小では洋式は1つずつある。

**問** 電子黒板は使いこなせば教育効果上がる。今何台配置されているか。

**答** 基山小3台、若基小4台、基山中4台で、段階的に増やしていく。

**問** 図書費が基山小・若基小とも5年前より減額になっているがなぜか。

**答** 基準の充足率が基山小は125%、若基小は150%でそうなった。



▲電子黒板を使った6年生の社会科の授業

## 問 米の生産調整の方針は

### 答 5年後の平成30年に廃止



林 博文 議員

**問** 米の生産調整(減反)は昭和45年に減反政策が始まり、今回、半世紀ぶりに農政の大転換を迎えた。減反の廃止方向は。

**答** 環太平洋連携協定(TPP)交渉が進む中、安い農産物が多く輸入される事態に備え、規模拡大を目指す農家や企業が自由に米を作れるようにするため、減反政策を平成30年には廃止する方向が示された。

**問** 減反補助金制度が今回見直しされたが、その概要は。

**答** 減反補助金(定額分)は作付面積10アール当たり1万5千円が平成26年産より7千5百円の半減に定額分が支給され、こ

の制度も平成30年には廃止される方向である。

次に転作補助金は飼料

用、加工用及び米粉用の米・麦・大豆などを水田に作付した農家が支給対象で、平成26年から主食用米から飼料用米などへの転作を促すため制度を拡充する。飼料用米は収穫量に応じた支給額を10アール当たり上限10万5千円、下限は5万5千円に変更される。

**問** 平成26年度から新しい交付金制度が新設される「日本型直接支払い」の概要は。

**答** この制度は農地を守る活動を支援する新たな交付金で、農道などを守る活動補助金「農地維持支払い」と景観形成などへの補助金「資源

向上支払い」の2種類の交付金で構成される。合わせた10アール当たりの支給額は、都道府県で水田が5千4百円、畑で3千4百40円が支給される。

弥生が丘の温浴施設の進入路について

**問** 温浴施設内に道路計画の基山町有地があるが、土地の有効利用は。

**答** 道路計画地を温浴施設の進入路として、基山町行政財産使用条例の規定に基づき貸している。

**問** 町道三ヶ敷村中3号線の幅員工事の予定は。

**答** 平成26年度に行う予定である。



▲温浴施設横の狭い町道三ヶ敷村中3号線

## 問 要支援者の保険外しはするな

### 答 サービス低下してはいけない



松石 信男 議員

しの内容だ。

**問** 厚生労働省は介護保険の要支援(1・2)者に対する保険給付(予防給付)を廃止し、市町村の事業に移す計画だ。これは要支援者に対して国の責任を投げ捨て、市町村に丸投げすることだ。これによりサービスの水準を切り下げ、介護費用を削減するのがねらいだ。要支援者のサービス見直しとは何か。

**答** ①要支援者(1・2)のホームヘルプサービス、デイサービスを市町村の地域支援事業に移す②特別養護老人ホーム入所を要介護3以上に限定③低所得者の被保険者の軽減強化④一定所得以上の利用者負担を1割から2割に引上げなどが見直

しの内容だ。

**問** 厚生労働省は、ホームヘルプサービスやデイサービスの担い手を専門職のヘルパーからNPOやボランティアの活用を図るといっている。事業が基山町に移ると今までと同じサービスが受けられるのか。介護関係者からは「介護の重度化を招きかねない」との批判があるが。

**答** 介護の専門家でないNPOや地域のボランティアという不安もある。今後充分検討しながら、その方々に任せていけるのか、質を落とさない十分な教育が必要だ。

**問** 要介護者に「障害者控除申請書」の送付は。

**答** 郵送する。

**問** 65歳以上で要介護

定を受けている人は、障害者手帳の交付を受けていなくても、身体障害者または知的障害者に準ずると町長が認めれば、所得税や町県民税の確定申告する際に「障害者控除」を受けることができる。認定書の交付が年間10件ほどで非常に少ない。

この「障害者控除対象者認定申請書」を控除対象者に送付すべきではないか。

**答** 要介護1～5の認定者のうち、療育手帳や身体障害者手帳の交付を受けた者を除く要介護認定者にお知らせ・記入例・申請書を郵送する。

**住宅リフォーム助成継続を求める**

**問** 住宅リフォーム助成が今年で終わろうとしているが助成件数が356件、9億4千万円と大きな経済波及効果だ。基山町の経済活性化対策として継続を求める。

**答** 経済産業振興、定住人口対策としても考えていきたい。

## 意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容	提出者	結果
意見書	佐賀県高校生の学習用パソコン(タブレット型端末)必須購入の撤回を求める意見書	タブレット端末は佐賀県で購入し、学校内部での生徒への貸与とする。	大山勝代 議員 松石信男 議員	不採択 (賛成少数)
陳情等	母が中国で不法に逮捕されている件に関する要望	人道的な立場、不当な扱いを受けている母の境遇に関心を示し、在日中国大使館及び日本外務省に要望書を出す。	岐阜県関市 西村麗子	全議員に配布
	玄海原子力発電所稼働反対要望書	玄海原子力発電所の稼働に反対し、発電所を停止、廃炉にする。	東京都東久留米市 川井 満	全議員に配布

## 議長交際費の公表 (平成25年10月～12月)

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方及び行事名等	
接遇	9,000	10/15～17	総務文教常任委員会視察研修土産
接遇	9,000	10/21～23	厚生産業常任委員会視察研修土産
合計件数	合計額(円)	累計件数	累計額(円)
2	18,000	6	37,940

## 平成26年 3月基山町議会定例会会期日程(案)

次のとおり議会開催を予定しております。  
今回は平日お越しいただけない方のためにもと、休日に一般質問をするよう計画しました。  
どなたでも傍聴できます。お誘い合わせのうえお越しくください。

全日程傍聴ができます  
議場は役場4階です  
(車椅子席もあります)

### 3月 は 休 日 議 会 を 開 催

3															月	
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	日
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	曜
本会議	委員会	休会	休会	委員会	委員会	委員会	委員会	休会	本会議	本会議	本会議	委員会	委員会	本会議	本会議	議事内容
委員長報告・討論採決	予算特別委員会(調整)			予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会		一般質問	一般質問	委員長報告・討論採決	常任委員会(調整)	常任委員会	議案審議・委員会付託	会期決定・提案理由説明等・ 予算特別委員会設置	備考

# 議会傍聴記

## 合併の是非を広く議論すべきかと

2区 原 憲一

なるべく議会傍聴をしたく、時間を作るように努力するものの、なかなか思うようになりません。今回は基山町の今後10年間の町づくりを計画する「第5次総合計画」策定に向けた大事な議会となるものと、傍聴しました。第4次総合計画は「自治体合併は避けては通れない課題としつつも、現段階では判断せず、町民の意見を聞きながら…」とのなかで議論され、策定されたと記憶します。

基山町は合併すべきか否か？自分は、賛否を判断できるまでには至っておりませんが、避けては通れないとするならば、老若男女・町内外で議論すべきであると思います。合併は相手が必要です。時期を失わないように、集中した議論が時には求められます。議会のみにも町の将来を委ねるわけではありませんが、10年後の基山町？基山まち？基山地区？の近くて遠い将来を政治家として議論されることを望みます。

私たち町民が町の主人公、町民主権であり、大事な問題はみんなで考える。そして理想の結論を導くための大切な役割りは、議会に果たしてもらいたいと感じました。

## もつと的確な回答を

17区 天野 勝

ここ数年半日ではありますが、毎回傍聴させて頂いております。

今回は特に私ども地元のけやき台課題について質疑応答がありました。私どもが口頃から身近なテーマとしていた問題で、興味深く傍聴させて頂きました。然も質問者はけやき台以外の議員さんでありびっくりしました。議員の皆様方も平素から基山町の全域のことを真剣に考えておられることが、良くわかりました。

行政側対応のついて少し気になった点がございいます。事前に質問内容が通告されていると思いますので内容を十分に検討され、もう少しきめ細かい的確な回答が欲しいと思います。

農業問題が取り上げられましたが、基山町の目玉となる産物は何か？米やアスパラガス等が候補に挙げられます。

日本の和食が無形文化遺産に決まったこともあり、このさいに町内外、外国へのPR活動を積極的に推進されたら如何でしょうか。

最後に傍聴者に分かるようにするには、質問者、行政側とも言葉だけではなく、ポスターやボードなどで訴える掲示物をもう少し活用されるのも一例かと感じました。

## 編集後記

### カワセミとの出会い

年明けのある昼下がり、ポケットにデジカメをしのばせて、秋光川ぞいを歩いた。遇えるかな、遇えたらいいな。恋人ならぬ、恋鳥カワセミ。下流から川岸や川面を見ながら歩くこと1時間。そして引き返した。いた。いた。いた。そつと近づくと。おねがい、飛び立たないでよ。やったあ、撮れた。このくちばし、そしてコバルト色。

秋光川にはほかに白鷺、セキレイなどがいる。鳴き声をする方を見ると、ジヨウビタキのつがい戯れながら飛んで行った。もつと野鳥が集まる自然そのままの秋光川になればいい。

「議会だより」をもつと皆様に興味を持って読んで頂けるよう紙面を工夫します。どうぞよろしくお願ひします。  
(大山)



## 広報編集委員会

- |      |       |    |        |
|------|-------|----|--------|
| 委員長  | 大山 勝代 | 委員 | 木村 照夫  |
| 副委員長 | 牧園 綾子 | 委員 | 久保山 義明 |
| 委員   | 重松 一徳 | 委員 | 神前 輔行  |

# ありがとうを伝えたい

今年の成人式は、1月12日(日)に基山町民会館で開催されました。  
町内の新成人は210人。新成人の皆さんに、節目に思う感謝の気持ちを聞きました。

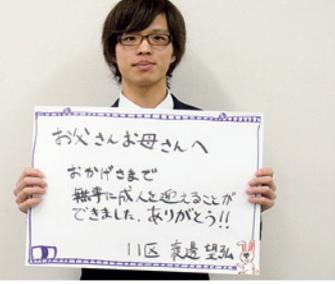
17区 鶴田 実希さん



9区 鶴田 悠樹さん



11区 渡邊 望弘さん



10区 竹下 洸平さん



5区 山本 亮太さん



5区 山本 雅大さん



2区 原 良太さん



3区 古賀 仁美さん



6区 江見 昇さん



2区 久保山 貴裕さん



17区 福光 春香さん



6区 岸 亜希美さん



5区 石田 彩佳さん



15区 林 彩美さん



4区 木原 成美さん

